

令和4年度 北信越連合理事会 議事録

開催期日 及び会場	令和4年10月29日(土) 午前11時10分～ 富山県：富山地铁ゴールドンボウル2F ミーティングルーム
出席理事	(役職は各連盟での役職) 富山県：犬島理事長、岩井副理事長 石川県：榎本理事長、渡辺常務理事 福井県：北理事長 長野県：川上副会長、両角理事長 新潟県：塚田会長、諏訪間副理事長

議事(決定事項)

1. 令和5年度北信越連合主催大会の日程及び会場の確認

- ・別紙日程表のとおり
大会会期に大きなイベントがないかを予めリサーチし、日程変更が生じないようにする。
コロナ終息までは、開会式を簡素化する。

2. 北信越地区都市対抗選手権の決勝進出チーム数について(前回持帰検討事項)

- ・基本12チームとするが、開催会場のレーン数により16もしくは8チームとすることを可とする。
(AB組それぞれ半数を選出)
令和5年度の第40回大会(主管：長野県)は16チーム(AB組各8チーム)とする。
競技日程は従来どおり(第1日目に1・2回戦、第2日目に3回戦・決勝)とする。

3. 国民体育大会及びスポーツマスターズの北信越ブロックの割り当てについて、他

- ・川上代表理事より国民体育大会及びスポーツマスターズのブロック割当案、他について説明
(別紙 資料#1-1、資料#1-2、資料#2参照)
 - ①来年の特別国民体育大会(鹿児島国体)は成年男子3県、成年女子2県、少年男子2県、少年女子2県。2024年の佐賀国スポより全種別25都道府県となるため、全種別2または3県となる。
 - ②スポーツマスターズは3(開催県の福井県を加算して4)と掲載されているが前例より北信越地区全県に参加権が与えられる見込み。
 - ③JBC主催大会において赤字となるものがあり、参加費の値上げが検討されている。
(高等学校対抗、大学選手権など)

以上

文責：新潟県 諏訪間 秀明